

市民とともに行動する弁護士

合併問題では 住民投票実現の先頭に

昨年、結論ありきで守口市との合併協議が進められたことに対し「合併問題は、市長や議会が勝手に決めず住民投票で」との市民の切実な願いが高まりました。河原林さんは住民投票条例制定を求める直接請求の代表者となり、住民投票実現の先頭に立ちました。

また、門真では投票率が50%を超えず、開票されなかったことについても、投票用紙の開示を求める運動に取り組んでいます。



直接請求する河原林さん(右)



かわらばやし

河原林まさき (43歳)



プロフィール

- 61年 京都府京都市出身 43歳
- 86年 立命館大学法学部卒業
- 93年 弁護士登録、門真市へ
- 94年～「門真子どもを守る市民の会」代表世話人
- 97年～「市民こそ主人公の住みよい門真市政をつくる会」代表委員
- 98年 ふれあい活動入所拒否裁判弁護団長
- 99年～「こころの自由を守る会」会長
- 02年～「門真の未来とまちづくりを考える市民の会」代表
- 03年～第2京阪道路公害調停弁護団
- 04年 住民投票条例制定直接請求代表者
- 趣味: 音楽・演劇鑑賞、読書
- 家族: 妻(グロリアさん)、息子(小学4年)

環境の守り手

門真市内を分断するようになり、第2京阪道路の工事がすすめられています。いつそこの環境悪化が危惧される中で、環境対策を求めている「公害調停」の弁護団に加わり、「公害道路は許さない」と頑張っています。まさに門真の環境の守り手です。



第2京阪道路問題

理不尽な市政実感

塾に通って終了時までいない日があるというだけで、ふれあい活動(放課後児童健全育成事業)への入所を拒否された児童のお母さんの訴えに応え、裁判の弁護団長を務めました。この裁判を通じて河原林さんは理不尽な門真の市政運営を実感しました。



ふれあい活動入所拒否裁判

住みよい門真

「つくる会」は河原林昌樹さんの出馬と政策について発表しました。
「市民こそ主人公の住みよい門真市政をつくる会」発行 2005年5月 No.102
門真市柳町2番20号(門真民主商工会内) ☎6908-5573

河原林さんはみなさんとご一緒に 開かれた市民参加のまちづくりをすすめます

- 子どもたちに豊かな未来をはぐくむ教育・子育て支援
- お年寄り・障害者が安心して暮らせるまちづくり
- 緑ゆたかで安全・安心なまちづくり
- 中小商工業振興で活気あるまちづくり
- 不急の公共事業を抑え住民本位の効率的な行財政運営



市民の期待が高まった「市長選挙勝利」スタートのつどい
=4月22日

ごめんです

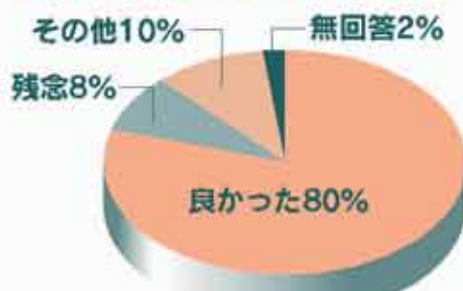
「財政が苦しいから」と合併強行

現市長は昨年、守口市門真市合併協議会の会長として「先に結論ありき」と合併協議を強行してきました。ただ「財政が苦しいから」と新市のビジョンも示さず、市民への十分な説明を行うことなくすすめてきたことに対し、市民は住民投票でノーの意思を示しました。今も「合併が白紙になって良かった」が、市民の多数の声です。

合併白紙後も反省なし

住民投票によって白紙となった合併問題を教訓に、情報公開・住民参加など、市民に開かれた市政運営が大切です。しかし、現市長は「なぜ市民の理解を得られなかったのかわからない」「合

合併が白紙になったことについて



「つくる会」アンケート結果から

併をすすめたことは今でも間違っていたとは思わない」とまったく反省がありません。市民の声に耳をかさず、けじめのない市長に今後の市政運営は任せられません。

傷んだ学童施設そのままに無駄な土地購入

「財政が厳しいから」と学童保育施設は雨もりなど放置されたままで、利用料まで新たに徴収しようとしています。その一方で、現在の市役所駐車場を活用すれば充分対応できるにも

かかわらず、新たに駐車場用地を一昨年1億8千万円もつぎ込んで購入。しかし、いつもガラガラです。市民の願いをよそに、こんな無駄使いは許せません。



いつもガラガラの駐車場(教育委員会横)



傷んだままのプレハブ学童施設

市民不在の市政は

河原林さんとともに
市民参加のまちづくり大集合

日時:5月21日(土)午後7時開会
場所:ルミエールホール(小ホール)
どなたでもお気軽にご参加下さい

サポーター募集してます 一日でも半日でも協力いただける方を募集しています。詳しくは「市民こそ主人公の住みよい門真市政をつくる会」まで。門真市柳町2番20号 門真民主商工会内 TEL06-6908-5573 FAX06-6908-5196

あなたのカンパお待ちしております 郵便振替:14020-22601281 加入者名:市民こそ主人公の住みよい門真市政をつくる会